

林 桂一先生の思い出

正 員 松 尾 春 雄

九州大学名与教授、日本大学教授、林 桂一先生が去る7月2日に逝去されたことは、一般には知らない人が多いことと思う。先生が著わされた数々の高等函数表は「林さんの表」として、多くの工学者、数学者、物理学者に親しまれた。また著書の多くがドイツで出版されたので、広く海外に知己を持つておられた。

かつてあの相対性理論で有名なアインシュタイン博士が日本を訪問された際、親しく林さんの手をとつて、「Hyperbelfunktionen sind mir sehr mitzlich」(あなたの双曲線函数表は私に大変役に立ちました)とくり返し礼をのべられた一事でもそのことがわかる。林先生が土木の出身と聞いて驚く人が多いほど、広い分野に名が響いていた。

この先生の死が一般に報道されなかつたのは、自分が死んだら親戚10人ほどにだけ通知を出して、ごく内輪で葬式をすませたあとで、数10人の親しい知友に死去を報じ、生前の厚誼を謝すると同時に、葬式は内輪ですましたことを報ずるよう、との遺言があつたからで、遺族はこれを実行されたのであつた。

このことでもわかるように先生は生涯を通じて、あらゆる無駄と形式とを省いて実質本位に生活されていたように思う。

先生は科学者には珍らしく語学に堪能で、研究発表は多くドイツ語とフランス語でなされていた。

外国語を上達するためには、その言葉で日記をつけるのが一番よいと、すすめておられた。

先生はまた細かいものでも無駄にしないことを常に心がけておられた。太平洋戦争の前、物資がなお豊富であつたころ、すでに先生は一度使つた封筒を裏返して使つたり、また学生にくばるプリントの不要になつたもので封筒を貼つたりしておられた。晩年にはデパートの包紙の裏を原稿の下書きに使つておられたとのことである。

先生は明治45年京都大学土木工学科を卒業、ただちに住友別子鉱業所に入り、ここに在職中「弾性地盤上の桁の理論」(後にドイツから出版)を完成されて、これによつて工学博士の学位を受けられた。そもそも先生が種々の函数表を作られるようになったのは、この著書の理論を

応用するために、読者の便をはかつて、円・双曲線および指数の表を巻尾にのせられたのが初めて、それ以来8冊の立派な表が出版された。

大正元年九州大学に迎えられて赴任、ただちにドイツに留学、4年半の後帰朝、大正6年から昭和14年停年退職されるまで土木材料および施工法の講座を担当されていた。退職後も福岡に住んでおられたが、昭和20年6月戦争が激しくなつたとき、山梨県甲府市に疎開されたが、福岡の家も疎開先も、不幸戦災にあわれて、上記のように貴重な未出版の原稿を失われた。それから後は東京に住まれるようになり、日本大学工学部の教授として学生の指導をされ、また著述をもされていた。

先生は4年ほど前から心臓の不調を訴えられておられたが、格別のこともなく、昇天の日は先生誕生満78年の記念日であつたが、この日も奥さんに顔を刺つてもらつたりして異状なく過し、床につかれてから家人も気がつかぬ間に、何の苦痛もなく静かに召されたとのことで、まことに先生にふさわしく、人に世話をかけない美しい最後であつた。

(筆者・工博、九大教授、工学部土木工学科)

あ あ 有馬さん !

正 員 高 坂 紫 朗

7月25日の西九州は朝から篠つく雨であつた。どうしても諫早まで出向かねばならなかつた有馬さんは、こんな悪魔が潜んでいるとは知らず、いつもと変わりなく、「帰りに雲仙でゴルフでも」と元氣よく博多を出たのであつた。

夕方になつても雨はますますひどくなるばかりであつた。「何んの風情もない諫早などに泊るよりは…」とハイヤーで諫早を出たものの、道路は川と化し、あるいは欠陥して、とてもそれ以上は進めない。仕方なくまた諫早まで引返し、本明川の近くの旅館に入つたのであつた。なんという運命の偶然さであろう。その夜本明川は刻々と水嵩を増し、待避の知らせで同宿の人達や宿の女中達と、宿をとび出したのであつたが、

皆の避難した所には有馬さんだけが来ない。外は暗黒な闇である。元氣な有馬さんのことだから、一人駅の方に歩いて避難されたのであろうと皆の者は想像した。悪夢の一夜は明けたが有馬さんはついに帰らなかつた。諫早の町は大混乱である。「元氣な有馬さんのことだから、どこかに要領よく避難して、あるいは一杯きこしめしているかも知れない」という一すじの望みを抱き、またそれが真実であることを願いつつ、探し歩いたが、ついに無駄であつた。ああ! ついに有馬さんは亡くなつたのである。これが昭和32年7月25日夜半のことであつた。

九州の志布志湾の一角で生れた有馬さんは、一高一東大一国鉄というコースで世の中に出られた。生粋の

九州男子の風格をもつた人で、学生時代からその交友は広がつた。国鉄在職中は丹那トンネルから関門トンネルへと、その歩まれた道は純建設計で、いづれも難工事の連続であつた。これだけ有馬さんも、腕の限りをふるわれ、その功績はまことに大きく、特にトンネル工事については、わが国第一の権威者であることはあまりにも有名で現に青函トンネルの調査委員になられており、有馬さんの教を受けた後輩は数知れない。それと同様に、例の飄々乎とした人格から生れるユーモアと凝り性から非常に多くの逸話を残した人で、優に一冊の小説本となりうる。それだけに皆から愛されていた。学生の頃はボートを漕ぎ、剣道にはげんだ運動家であり社会人となつてからは、あらゆる方面に興味をもたれ、特に釣の名手であることは有名で最近

ゴルフに凝っておられたが、これはまだ名手とまではいかないようであった。また性来の凝り性と器用さで、ラジオを始め、身の廻り品や小道具まで自分の手で造りあげ、その腕前は玄人の域であつた。最近はずらセーターを編んだり、ゴルフのクラブまで造るほどの凝り方であつた。また有馬さんの酒のたしなみ方と手料理は有名で、いかなる一流の料亭のサービスも、有馬さんにとつては一顧の価値もないものであつた。国鉄

をお辞めになつてからも、昔と変りない教え方で、私達を何かと導いて下さつた。ほんとうにかけがえのないよい先輩であつた。最後に上京されたのは、5月15日の小本線の開通式に出席する折であつた。有馬さんが盛岡在職中、何くれと目をかけたお市さん夫妻が、有馬さんのために腕によりをかけて用意していただける白濁酒(ドブ酒)を御馳走になりに行くのが何よりの楽しみで、子供のようにハシチャいでおられた有

馬さん、いかなる運命のいたずらか。すでに幽冥境を異にした今である。

有馬さん! どうか安らかに眠つて下さい。奥さんも元気だし、坊ちゃんも立派に成人されています。娑婆には何んの気を残すこともございませぬ。あなたを知る人はすべて一先輩も後輩も——ありし日のあなたの姿を胸に刻んで、あなたの霊を見守つています。ペンをとる私もちろんです。

(筆者: 国鉄本社・建設局線増課長)

建設省道路局に高速道路課設置

昭和32年8月1日から業務を開始した高速道路課は、主としてさきの第26回国会において成立した高速自動車国道法にもとづく事務の処理を行うものとして設立され、同課の所管事務は次のとおりである。

1. 高速自動車国道法の施行に関すること: ただし、高速自動車国道の予定路線の決定および高速自動車国道の路線の指定に関する事務は、他の道路網との関連もあるので道路企画課において行う。

2. 道路整備特別措置法の施行に関すること: すなわち、有料道路事業に関連した事務である。
3. 自動車道に関すること: 道路運送法にもとづくもの。
4. 道路に関する経済的調査一般に関すること: すなわち、産業経済上の観点から道路事業投資の効率化に関する研究等を行う。
5. 高速自動車国道の経済効果の調査に関すること。
6. 国土開発縦貫自動車道建設審議会に関すること。

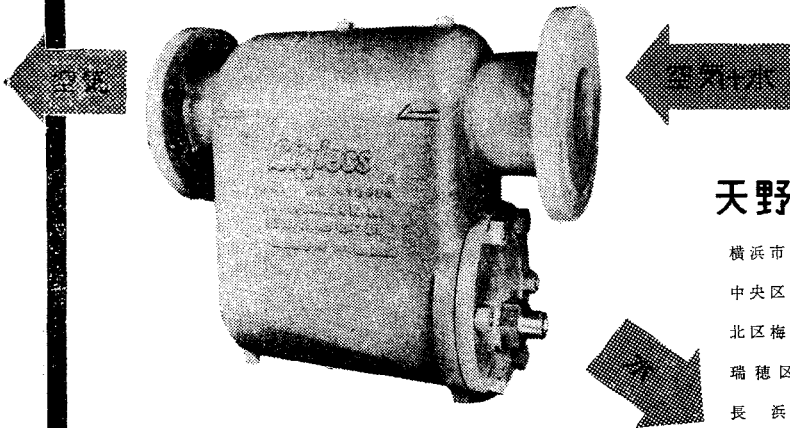
自動ドレン分離器“リクレス” patent

適用例

鉱山・造船所・土木事業
薬食品の空気輸送
パッチャー・プラン
サンド・プラスト
陶業・自動制御

Liqless

圧縮空気中のドレンの99%を自動的に除去!



特長

- ・全自動式
- ・永久的使用可能
- ・消耗品不要



天野特殊機械株式会社

本社工場
横浜市港北区大豆戸町275 Tel(49)9741~2
東京支店
中央区銀座東6の7木挽館 Tel(54)6637
大阪支店
北区梅田新道日産生命館 Tel(34)3768
名古屋支店
瑞穂区柳ヶ枝町1の14 Tel(8)6804
福岡支店
長浜町4の23 Tel(5)2531